

四條畷市×エン・ジャパン ソーシャルインパクト採用プロジェクト開始！ —2022年度も積極的に民間人材を登用し、官民融合な市政を実現—

人材採用・入社後活躍のエン・ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：鈴木孝二）は、2022年4月18日（月）から四條畷市の『ソーシャルインパクト採用プロジェクト（<https://www.enjapan.com/>）』を開始します。当社が運営する採用支援サービスを通じ、全5職種を公募。複数サイトによる募集に加え、適性テストや動画面接ツールの提供など選考フローまで幅広く当社が支援します。下記、本プロジェクト概要と四條畷市長 東氏のコメントを紹介します。ぜひ、ご一読ください。



特設ページはこちら ⇒ https://www.enjapan.com/project/shijonawate_2204/

募集背景・募集ポジション詳細

今回公募を行なうのは、全国最年少の東市長が改革を推し進める大阪府四條畷市。外務省職員、野村総研でのコンサルタント職経験を持つ東市長が就任以来取り組んできたのが、「官民融合」の市政の実現。2017年の就任直後は、公募で市初となる女性副市長を登用し、その後も積極的に民間人材の登用を行なってきました。これまで数十名の方が入職し、幅広い分野で民間企業での経験を活かしながら活躍しています。

さらに四條畷市を改革すべく、今年度も公募を実施します。募集するのは「ICT担当」「事務職」「土木職」「保健師」「社会福祉士」の全5職種。小中学校の校務効率化や住民情報・庁内情報のデータ連携などを担うICT担当をはじめ、いずれもまちづくりに欠かせないポジションです。求められているのは、「市民のために働く」という使命感。現場裁量でプロジェクトの実行が任される環境だからこそ、主体者として問題意識を持って改革に挑める方が歓迎されています。地方創生に関心のある方、ご応募お待ちしております。

募集要項

- ・募集職種：ICT担当、事務職、土木、保健師、社会福祉士
- ・雇用形態：正職員
- ・応募受付サイト：『エン転職』『AMBI』『ミドルの転職』
- ・応募受付期間：2022年4月18日（月）～2022年5月6日（金）
- ・特設ページ：https://www.enjapan.com/project/shijonawate_2204/

四條畷市長 東 修平氏 コメント

日本一前向きな市役所へ。この市役所像を掲げ、私たちはこれまで数々の全国初施策を実施してきました。それらはいずれも、最前線で働く職員から生み出されました。私たちは、小さな市役所です。だからこそ、一人ひとりが幅広い業務を担当できます。ステークホルダーが少ないからこそ、主体的に変化を起こしやすい環境です。市民との距離が近いからこそ、常に市民サービス向上を意識し、成長し続けることができます。あなたも、私たちとともに、その積み重ねてきた経験を公共のために発揮してみませんか。

大阪府四條畷市長 東修平氏（無所属）



京都大学で原子力について学び、修士（工学）を取得した後、外務省に入省。その後、野村総研インド在職中、父の病をきっかけに地元の現状を知り、生まれ育った故郷を未来へと繋ぐべく、出馬を決意。2017年1月、28歳で初当選。着任3年で約150回にわたる市民との意見交換を行なうなど、対話を重視したまちづくりを理念に掲げる。11年ぶりの人口の社会増や、31年ぶりの財政構造の健全化を達成。2020年12月、前回より20%以上の得票数にて再選。現在2期目。

本プロジェクトにおける当社支援サービス

プレスリリースや特設ページ、採用HPの作成、Web広告での告知に加え、各求人サイトでの集客サポートを実施いたします。『エン転職』『AMBI』『ミドルの転職』とターゲットの異なる3つの求人サイトを活用することで、ターゲットへ網羅的に求人を届けます。ビデオ面接ツール『Video Interview』、WEB適正テスト『タレントアナリティクス』も提供。選考フローの支援を通じて、求職者と同市の適切なマッチングを実施します。

<提供サービス一覧>



ソーシャルインパクト採用プロジェクト
 担当：関、水野

<https://www.enjapan.com/>

本ニュースリリースに関する問合せ先

〒163-1335 新宿区西新宿6-5-1 新宿アイランドタワー

TEL : 03-3342-6590 MAIL : social_impact@en-japan.com

※プロジェクト参画のご相談、取材・セミナーの登壇依頼などお気軽にお問合せください。